

「させぼ温州」苗木の早期樹冠拡大のための主枝の仕立て法

[要約] 「させぼ温州」の苗木は、発芽数が多いため、主枝候補の枝に夏枝を多くつけると樹冠の拡大が遅れる。主枝候補の枝の伸長を促すためには、植え付け1年目に芽かきを強くし頂芽を1本に制限して、支柱に誘引し伸長させたほうがよい。

長崎県果樹試験場・常緑果樹科

専門

栽培

対象

果樹類

分類

指導

平成11年度長崎県果樹試験場業務報告

[背景・ねらい]

「させぼ温州」は、発生する芽の数が多く、枝長も短く樹冠拡大がしにくいので、苗木について、芽かきの程度と枝の伸長との関係を調査し、早期樹冠拡大のための主枝の仕立て法を明らかにする。

[成果の内容・特徴]

- ① 芽かきの程度については、芽かき強は、3本の春枝を残し、春枝から発生した夏枝は芽かきで頂芽のみ1本にする。芽かき中は、3本の春枝を残し、春枝から発生した夏枝は頂芽のみ2本にする。芽かき弱は、春枝を4～5本残し、1本の春枝から発生した夏枝は主枝候補と側枝の2本を残す。
- ② 主枝の伸長は、芽かきを強くし主枝の頂芽を1本のみ生育させた区が最も大きい。夏枝を多くつけた区ほど枝の伸長は劣る。また、葉数は芽かきが弱い区ほど多くなる。(表1, 表2)
- ③ 主枝の時期別(春枝, 夏枝, 秋枝)伸長割合は秋枝が最も大きく、次いで夏枝で、春枝は最も小さい。(表3)

[成果の活用面・留意点]

- ① 芽かきで夏枝数を制限すると、枝の伸長が進むが、「させぼ温州」は側芽の発生が多く芽かきには労力がかかるので、苗木は集約的に管理することが必要である。

[具体的データ]

表 1 させば温州 1 年生苗の芽かき程度が葉数，主幹径に及ぼす影響

芽かき程度	旧葉数		全葉数		主幹径 ²	
	5月11日 (枚)	12月10日 (枚)	5月11日 (枚)	12月10日 (枚)	5月11日 (mm)	12月10日 (mm)
芽かき強	15.5	135.0	8.2	11.2		
芽かき中	17.7	182.0	8.0	11.2		
芽かき弱	13.5	204.0	8.5	11.7		

²：主幹径は接ぎ木部の 5 cm 上を測定

表 2 させば温州 1 年生苗の芽かき程度が，枝の伸長に及ぼす影響

芽かき程度	枝数 ²		枝長			節間長		
	春枝	夏枝	主枝 1 (cm)	主枝 2 (cm)	主枝 3 (cm)	主枝 1 (cm)	主枝 2 (cm)	主枝 3 (cm)
芽かき強	3.0	3.0	86.7	73.8	58.0	1.7	1.5	1.6
芽かき中	3.0	5.7	76.0	54.2	50.7	1.1	0.9	1.2
芽かき弱	4.8	8.3	63.5	58.3	44.9	1.0	1.1	1.0

²：枝数は苗木 1 本当たりの枝の本数

表 3 3 本の主枝長における春枝，夏枝，秋枝の割合

芽かき程度	平均主枝長 (cm)	春枝 (%)	夏枝 (%)	秋枝 1 ² (%)	秋枝 2 ³ (%)
芽かき強	72.8	15.7	32.1	43.5	8.7
芽かき中	60.3	19.6	31.0	34.9	14.6
芽かき弱	55.6	18.5	35.8	39.9	5.7

²：第 3 回目の伸長枝

³：第 4 回目の伸長枝

[その他]

研究課題名：させば温州の早期樹冠拡大と高品質果安定多収技術

予算区分：県単

研究期間：平成 11 年度（平成 11 年～ 14 年）

研究担当者：古川 忠

発表論文など：なし